

B-5. かくれんぼあそび 大野町保育園(石川県金沢市)〈4歳児 6月～9月〉

活 動	かくれんぼあそび	対象年齢	4歳児
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 1年を通してトトロの森の中や鳥などの生き物がかくれんぼしている様子を見ながら楽しむ ❖ 虫眼鏡や双眼鏡を使って観察する事の良さを知る ❖ 消えるカードを使っていろいろ試したり、不思議に気付く 		
準 備	<ul style="list-style-type: none"> ❖ カニのかくれんぼ一網を作る、虫かご ❖ 虫のかくれんぼ一虫眼鏡、虫カゴ、画用紙、画板、クレヨン ❖ 消えるカード一見本用のカード、一人用バケツ、ラミネート袋、セロテープ、色鉛筆、工作用紙 		

ーカニのかくれんぼー

時間	環境の構成と予想される活動	保育士の援助
6月～	園の近くの土手までカニを捕りにいく 周辺の様子・かかれている場所・動く様子 ↓ 観察絵で表す ↓ お家(土手)に戻しに行こう	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 土手に危険なものがないか見ておく

園の近くの土手はたくさんのアカテガニが隠れており、そこへよくカニをとりに行った。以前は多くの子が「先生、カニ触れーん」「とってー!」と言っていたのに回を重ねる事に、カニに対する恐怖心がなくなり、網を使わず素手でとるようになっていた。カニはすばしっこく、つかまえようとすれば逃げて、隠れるというカニの動きがわかってきて、足音をたてず忍者のように忍びよったり、手を素早く動かしたり、何人かが連携プレーで協力してつかまえたりする事もあった。必死で逃げるカニを、子どもたちは負けじと追いつめ、入っていた穴をほじくったり、草むらをかきわけて探すようになっていた。

トトロの森でかくれんぼ遊びをたくさん楽しんだ後、カニのかくれんぼ遊びを行った。たくさんの大きな石があって、カニもその石のすき間にたくみに逃げ隠れしていた。子ども達は大きな石を動かすと、今まで見た事もないような巨大ガニが隠れているのを発見できた。「でっかーい!!これまんじゅうガニや!」「そうや。大きくて丸いからまんじゅうガニっていうげんねー」と初めて見る種類のカニに大興奮だった。その後もカニの隠れ場所をみつけては遊びを楽しんでいた。



この大きな石をどかしてみよう!
巨大ガニがいるかもしれない



ー虫のかくれんぼー

時間	環境の構成と予想される活動	保育士の援助
8月～	どこに?・どの様に?・雨天の日は? 「もういいかい?」の合図で探しに行く ↓ 体で表現してみよう 保育士…鬼 園児…虫たち 絵で表してみよう 隠れている様子	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 「どんな所にどのように隠れていたか」をしっかり見てくるよう話す ❖ 虫眼鏡の効用などを体験させ、虫を観察する時に使用する大事な道具である事を知らせる ❖ かくれんぼから発展させ、遊びながら虫を探す ❖ 子どもたちと一緒に表現活動を楽しむ事を共有する ❖ 虫眼鏡でくわしく観察し、絵に表せられるようにする

(1) 「もういいかい？」虫を探しに行こう

「カマキリ探そうぜ!」「じゃ、あっちの草の所探してみよう」というチーム。「あっバツタ見つけた!」「つかまえろー!」と一勢にバツタをつかまえようとするチーム。「この土ほじくってみよう」「あんなにかおる!」「みみずや!」「みみずみつけたー!」と喜ぶチーム。「なんかおらんかなー」「ここは?」と葉っぱをめくったり、「ここは?」と石をどかしたりしていろんな所を探していたチーム。と各チームそれぞれが、かくれんぼ名人の虫達を相手に頑張っていた。

(2) 「どんなふうに隠れていたのかな?」 体で表現してみよう

巨大網を持ち、虫取り役にふんした保育士がやってくるとあわてて逃げ出す虫になりきった子ども達。コオロギ役の子は近づくと鳴くのを止め、バツタやカマキリ役の子をつかまえようとする、飛ぶのを止め草の上でじっとしている。カタツムリ役の子はつかまえよう近づくと、木にしっかりしがみついて離れられないようにしていた。子ども達は虫たちがかくれていた様子、特徴をしっかり観察し、虫に上手になりきって表現した。



(3) 「どんなところに隠れていたのかな?」 絵で表現してみよう

ここでは虫眼鏡を使用し、虫の隠れていた様子を観察するところから始めた。「目、こんなところにあった。なんかとびでとる……」「お尻に針みたいのついとる。」という発見をしたり、「口、こうやって動いとるよ。」と手の平を2つ使ってやってみせてくれたりした。そしてそれを上手に絵に描いていた。

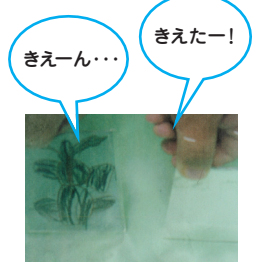
絵を描いた虫もかくれんぼさせてあげよう!と隠れていた場所の自然物も採取してきた。絵ができあがると、葉っぱや草、土などをはり、自分達にみつかってしまった虫たちをもう一度かくれんぼさせてあげた。



—絵カードのかくれんぼ—

時間	環境の構成と予想される活動	保育士の援助
9月	カードを使ったかくれんぼ遊びをする ↓ 絵カード作りをする カニ、バツタ、コオロギ等 好きな生き物を描く ラミネート袋に入れる 水の中に絵カードを入れる ↓ 絵のかくれんぼごっこをする	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 水を森にみだて、虫の絵がかくれんぼする様子を見せる ❑ 「どうやったら消えるの?」「こんな事してみよう!」等と試させる ❑ その時で終わらず、子ども達の興味、関心が続く間、遊びの中にとりいれてみる

カブト虫やバツタ、カニなど子ども達の好きな生き物の絵を描いたカードを使い「今から、虫たちが水の中にかくれんぼするよ! 探してね。」と誘った。何が起きるんだろう?とワクワク顔の子もたちの前でカードを水につけると「あれ、おらんくなった!」「消えた!」という反応。チラッと上の方だけカードを水から出すと「あ! できました!」と虫をつかまえようとする手が次々と伸びてきた。子どもたちも自分の好きな生き物の絵カード作りを早速行った。カードを水につけたとたん、「消えたー!」という驚きの声と「消えーん!」というがっかりした声がかえってきた。カードを真っすぐにしたり、斜めに入れたり、何度か試すうちに「消えた」と喜んでいた。絵カードを動かすことで見えたり、見えなくなったりする事に気づき遊びを楽しんだ。



今後の発展

この活動を通して子どもたちの自然を見る目がずい分かわってきたと感じた。詳しく見る目、見えないものを探そうとする目、おもしろい事を発見する目、不思議な事に気付く目とはじめの頃には見られなかった言動が見られるようになってきた。虫やカニなどの生き物が大好きな子ども達だったからこそ、このかくれんぼ遊びが広がったと思われる。かくれんぼあそびは年間を通して出来る活動なので今後も続け、子どもたちが自然をより深く観察する力を養い、自然との豊かなかかわりにつなげていきたい。

ポイント

子どもたちの大好きな「かくれんぼ」ですが、保育者の工夫で遊びが広がっていきます。石の下に隠れているカニを探したり、森の中でバツタやカマキリを探したりする遊びから、虫の隠れ方を体や絵で表現する活動へと発展するなど、これらの遊びをきっかけに、子どもたちの「さらに注意深く見る目」が育まれていきます。